

川崎市の訓練実施結果概要

都 県 市 名 川 崎 市

訓練の 目的	市民、行政及び防災関係機関等が地域や学校等において、自助・共助・公助の理念に立った実践的訓練を通じて連携を強化し、災害対応能力の向上を図るとともに、九都県市合同防災訓練会場への広域応援（救援物資搬送）を相互に実施して、九都県市相互の連携を図る。
日 時	1 平成25年 8月31日（土）9：00～ 12：00（中央メイン会場） 2 平成25年 8月31日（土）16：00～20：00（中央サブ会場）
会 場	1 等々力緑地催し物広場等 2 川崎市立井田中学校
規 模	参加機関（団体） 82機関、 参加人員 1400名
想定地震	川崎市直下を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、中原区をはじめとする市内全域で、家屋の倒壊や火災により、多数の死傷者が出ている。また、電気をはじめとするライフラインは各所で寸断し、主要地方道、高速道路上では多重事故、鉄道でも脱線が発生、道路の寸断や大規模火災等により、孤立地域が出ている模様である。
訓練項目	<p>1 中央メイン会場訓練（防災関係機関訓練）</p> <p>ボランティア受付訓練、道路啓開・緊急交通路確保訓練、ライフライン応急復旧訓練、情報伝達訓練、防災フェア、要援護者救出搬送訓練、応急救護及び初期消火訓練、ライフライン応急復旧訓練、救出救助訓練、救護活動訓練、放水訓練</p> <p>2 中央サブ会場（地域活動型訓練、参加・体験型訓練）</p> <p>避難所開設訓練、要援護者安否確認・避難訓練、救援物資受入・搬送訓練、応急給水拠点開設・炊き出し訓練、応急救護訓練、初期消火訓練、バルーンシェルター救護所開設訓練</p> <p>※ 遺体安置所開設訓練（9月5日）は大雨による災害発生に備えるため中止。</p>
訓練の 特徴	訓練開催地である中原区の特色に即した訓練の実施として近年開発が進む武蔵小杉駅周辺の高層マンションからのヘリコプターによる救出救助訓練を行った。また、川崎DMA Tを主体とした実践的な応急救護訓練、聴覚障害者や外国人市民の参加による要援護者救出搬送訓練、民間事業者との協定に基づく大型バルーンシェルターの設置訓練、地域住民による応急給水拠点の開設など関係機関や地域との連携促進のための実践的な訓練を行った。

<p>参加機関</p>	<p>【協定機関】</p> <p>(一社) 川崎建設業協会、神奈川建設重機協同組合、(公社) 神奈川県LPガス協会川崎北支部、川崎市管工事業協同組合、(一社) 神奈川県トラック協会、(一社) 神奈川県トラック協会川崎サービスセンター、赤帽首都圏軽自動車運送協同組合、川崎市アマチュア無線情報ネットワーク、かわさき市民放送株式会社、(社) 神奈川県タクシー協会川崎支部、川崎地区ケア輸送連絡会、NPO法人救助犬訓練士協会</p> <p>【指定公共機関】</p> <p>東京電力株式会社川崎支社、東日本電信電話株式会社神奈川支店、東京ガス株式会社川崎支店、東京ガス神奈川導管ネットワークセンター</p> <p>【市民団体、学校、民間企業等】</p> <p>中原区自主防災組織連絡協議会、中原区町内会連絡協議会、中原消防団、中原地区婦人消防隊委員会、中原地区少年消防クラブ運営委員会、緊急地震速報利用者協議会、中原消防ボランティア委員会、かわさき市民活動センター、川崎防災ボランティアネットワーク、井田中学校、中原中学校、NPO法人ピースウィングス・ジャパン、JX日鉱日石エネルギー株式会社、NPO法人ママプラグ、スクラム21 (男女共同参画センター)、NPO法人小杉駅周辺地区エリアマネジメント</p> <p>【医療・福祉関係機関】</p> <p>(公社) 川崎市医師会、(公社) 川崎市歯科医師会、(公社) 川崎市病院協会、(公社) 川崎市看護協会、(一社) 川崎市薬剤師会、(社) 神奈川県柔道整復師会川崎支部連合会、(社) 川崎市獣医師会、日本医科大学武蔵小杉病院、聖マリアンナ医科大学病院、日本赤十字社神奈川県支部、中原区赤十字奉仕団、(公財) 川崎市聴覚障害者情報文化センター、NPO法人川崎介護福祉士会、(社福) 川崎市社会福祉協議会、(社福) 川崎市中原区社会福祉協議会</p> <p>【国・県の機関】</p> <p>陸上自衛隊第31普通科連隊、防衛省自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所、神奈川県中原警察署、神奈川県警察第二機動隊、神奈川県警察本部危機管理対策課、神奈川県警察地域部航空隊</p> <p>【九都県市広域応援協定自治体】</p> <p>千葉市、千葉県、東京都、埼玉県、さいたま市、神奈川県、横浜市、相模原市</p>
-------------	---